

米子市立福生中学校 令和6年度 福祉教育の取り組み

《 総合的な学習の時間 (JJ タイム) 》

次のテーマで課題を設定し、その解決方法を考える探究的な学習をしました。

全体テーマ「誰もが住み続けられるふるさとづくり～みんなに住みよい地域社会の未来を考える～」

1年生「わたしたちのまち 魅力再発見」

2年生「誰もが住み続けられるふるさとづくり～防災・減災を探る～」

3年生「誰もが住み続けられるふるさとづくり～地域貢献・参画～」



探究した結果を11月に発表しました。

【JJ セッション】 学年や縦割りで互いに発表し、議論し合いました。

【JJ フォーラム】 文化祭で各学年の代表チームが発表しました。コメンテーターに地域で活躍されている行政、観光関係者の方をお招きし、発表への助言をいただきました。

《 1000万人の稲づくり一鉢運動 》

提供されたお米を発芽させ、バケツやコンテナを使って育て、できたお米の半分を飢餓に苦しむ国へ寄付するプロジェクト「1000万人の稲づくり一鉢運動」に家庭部が取り組み、半年間育ててお米を収穫しました。



《 「ねんりんピック」のぼり旗 デザイン 》



「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」が今年鳥取県で開催されるご縁で、各校に割り当てられた都道府県「のぼり旗」のイラストを美術部が描きました。福生中は5つの県を担当し、どれも各県の特徴を捉え応援する気持ちにあふれた仕上がりとなりました。旗は開催期間中に玄関に飾られました。

《 地域にお花を届けるプロジェクト 》

米子市の事業を活用して、花のプランターを校区の保育園と公民館に届けました。今回は女子バレー部の協力で苗を植える作業をおこないました。花の匂が過ぎたところに回収して、再度植え替え作業をする予定です。



《 生徒会の活動 》

○あいさつ運動

生徒会執行部と生活委員会が中心となり、PTA 生活部にもご協力いただき「朝のあいさつ運動」を実施しています。また、「小中あいさつ交流」では、代表生徒が校区の小学校に行き、児童会の代表や民生委員の方と一緒に活動をしました。



○募金活動

生徒会執行部、中央委員会、美化委員会が呼びかけをし、緑の募金、赤い羽根共同募金の活動をしました。



赤い羽根共同募金の活動では、生徒会会長と副会長が話し合い、「どうしたら『募金に協力しよう!』という気持ちになるのか?」について考え、「実際に寄付金が役立っている現場の声を届けよう」ということになりました。社会福祉協議会の方にインタビューを行い、内容を動画にまとめて全校生徒に見せ募金を呼びかけました。その効果もあり、昨年度以上の寄付金を集めることができました。

美化委員会で話し合い、今年度の緑の募金交付金で購入する花を選びました。生徒の皆が癒やされ明るい気持ちになれるように願いを込めて、委員が玄関前に植えて育てています。



《 日野川一斉清掃ボランティア 》

全日本トライアスロン皆生大会を間近にひかえた7月の日曜、校区の公民館主催で「日野川一斉清掃」がありました。全国から集まる選手たちが気持ちよく競技できるように、多くの生徒、保護者が地域の皆さんと一緒に清掃活動に参加しました。



《 1年 手話教室 》



【生徒の感想】

- ・空書やジェスチャーでもけっこう伝わるんだなと思いました。災害時などどっさの時に手話がわからなくても困っている人がいたら話しかけたいと思いました。
- ・手話は形とか動作などから連想するものが多くて覚えやすかったです。もっとたくさん覚えたいと思いました。

《 1年 皆生養護学校との交流会（ポッチャ） 》

【生徒の感想】

- ・養護学校の人たちがみんな和みやすい雰囲気をつくってくれて関わりやすかったです。体が不自由なところもあるけど、ポッチャのように人より得意なこともあり、得意不得意があるのは同じだなと親近感がわきました。一緒に協力してできて2時間では足りないくらい楽しかったです。
- ・「勝ったよ!」と言ったら笑ってくれてすごくうれしかったです。一緒に写真を撮ったり、帰るときに手を振ったりしてくれて最高でした。交流を通してみんなと仲良くなれた気がしました。またやりたいです。

